

地球環境局総務課研究調査室

1. 事業の概要

2008年の神戸 G8 環境大臣会合で我が国の提案により、「低炭素社会国際研究ネットワーク」の形成が合意された。2009年4月には、イタリアで開催された G8 環境大臣会合でネットワークが正式に立ち上げられ、その活動成果を今後の G8 環境大臣会合で報告していくよう求められたところ。平成 21 年度は、本事業により、我が国がリーダーシップをとり国際研究ネットワーク活動の全体計画の作成、国際ワークショップの開催、ステークホルダー対話等を実施することにより、低炭素社会に関する国際研究を推進してきた。

他方、世界全体の温室効果ガス排出量を大幅に削減するためには、中国、インド等途上国で低炭素社会を実現する必要性があるが、具体的な低炭素社会のビジョンを示すに至っていない。このような状況に我が国として積極的に貢献するため、平成 22 年度から新たに、アジア等の主要途上国に対し、本ネットワークへの参加を働きかけ、低炭素社会研究を強力に推進する。

2. 事業計画

(1) 国内における低炭素社会研究の取りまとめ

国内の研究成果を収集整理し、低炭素社会研究のプログレシブレポートや優良事例集を作成し、広く世界に向けて発信する。

(2) 国際的な低炭素社会研究をリードする全体計画の実施

我が国が G8 各国を中心とした国際的な研究機関のネットワークの活動をリードしていくための全体計画を作成し、その進捗状況管理等を行う。

(3) 国内外における研究の連携・発信

低炭素社会研究協力シンポジウム及びワークショップなどを行う。

(4) アジア等における低炭素社会研究の推進【新規】

協力研究機関との連携により、アジアをはじめとする諸地域における主要途上国の低炭素社会関連研究の動向を把握・分析し、それらの地域における低炭素社会研究を推進し、ネットワークへの参加を促進する。

3. 施策の効果

各国の低炭素社会に関連する研究機関が連携し、研究協力と情報交換を推進するネットワークを構築し、2050年までに世界全体の GHG 排出量を半減するという G8 で合意された長期目標達成を実現するための研究を国際的に推進する。

G8先進国研究機関

途上国を含むその他研究機関

「低炭素社会国際研究ネットワーク」

(2009年4月のG8環境大臣会合で正式発足) (現在6か国、10機関が参加表明)

- 長期目標達成を現実のものとするための低炭素社会実現に向けた研究を国際的に推進 -

LCS-RNetキックオフ会合・
研究者会合
(2009年4月、トリエステ)

(財)地球環境戦略研究機関(IGES)
国際研究ネットワーク事務局

ステークホルダー対話
(2010年1月、オタワ)

SB30サイドイベント
(2009年6月、ボン)

第1回年次会合
(2009年10月、ポローニャ)

ISAP国際シンポジウム
(2009年6月、葉山)

日本国政府

(2008年5月のG8環境大臣会合で設立を提案)

各国政府

研究シンポジウム・
ワークショップ

研究者の
キャパシテビルディング

企業、市民
との対話

国際研究
データベース

・アジア等をリードする研究方向性の提案
・欧米との地域コーディネーション機能強化

G8プロセス等への国際発信による
地球規模の低炭素社会づくりの推進